

令和7年度第1回香美市立図書館協議会 議事概要

日時 令和7年5月29日(木)
14時00分～16時00分

場所 香美市立図書館 かみーる

出席者
委員 中村直人(委員長)、田島基宏(副委員長)、岡村妙子、中嶋佳代

事務局 中山泰仁(教育次長)、松岡可奈(館長)、田村剛(主幹)、山重壮一(統括官)

内容 (1)令和6年度事業実績及び令和7年度事業計画について
(2)令和6年度研修会参加実績について
(3)令和6年度図書館決算額および令和7年度図書館予算額について
(4)第四次香美市子ども読書活動推進計画について
・次回開催日程について

(1)令和6年度事業実績及び令和7年度事業計画について

委員からの質問	事務局の回答
・子ども司書養成講座の参加と効果は。	・元々県の事業だったが、香美市は継続して行っており、12名の参加が得られている。 ・館内で本の紹介展示を行っている。
・やなせたかし関連の図書館が提供する新たなものがありますか。	・計画しているものに加えて各要望をうけて開催をしている。

委員からの意見
多岐にわたりイベントを開催しているが、今後の運営費等、職員数等見合っているのか危惧します。
子ども司書については、受講された生徒が図書館、学校などで、どのような成果を出しているのか、成果が出ているようであればその点をアピールしてもいいと思う。
朝ドラで注目を浴びているチャンスを生かして、もっと図書館をアピールして、存在意義を周知し、拡充を図ってもいいのでは。

(2)令和6年度研修会参加実績について

委員からの質問	事務局の回答
他の館の事例では、会計年度任用職員が研修に手を挙げない、スキルアップの実感が持てないなどがある。仕事の中での充実感も必要だが、研修等に参加してもらうことでスキルアップや職場との一体感、職場に守られていると感じられるのではないか。県外研修を年1人くらい考えてみてはどうか。他の館との交流で自分の立ち位置や自分の仕事の意義を再構築するには有効。決算書には旅費の残があるが。	旅費に関しては会計年度任用職員の通勤等の費用弁償が主で残が残っている。職員等の県外出張には現状では予算等は確保が厳しい。また、今の人員ではシフト調整が難しい状況だ。県図書館協会でかつて県外派遣研修があったので、現在はどうか確認する。

(3) 令和6年度図書館決算額および令和7年度図書館予算額について

委員からの意見
人件費など予算を確保するシステムを組まないのか、クラウドファンディング等の活用をしないのか、長期的な人材を育てるシステムが課題、ビジョン、理念がない自治体は成長しないので今一度考えてほしい。

(4) 第四次香美市こども読書活動推進計画について

委員からの質問	事務局の回答
低学年の不登校の理由は。	様々な理由が考えられるが、一つに不登校ということに対して親、子どもとも抵抗がなくなっている風潮があるのではないか、学校がすべてではないと考える方が一定いる。
中学生、小学生の本の貸出数の推移の現状は。	旧館に比べれば上昇傾向にある。月に何十冊も読む子もいれば無関心な子もいる。

委員からの意見
子どもが好奇心をもって自ら読む気持ちが重要だが、大人が導いてあげてあげたほうが良い。そうした本が図書館にあることは非常に重要だ。公共の図書館と学校が連携して、うまく高められて定着することが重要なので、「教科書の紹介図書コーナー」を継続してやってください。
子どもの読書の最終的な着地点は、楽しみの読書から、自分に必要な情報を本から読み取る力を身に着ける、そのツールとして図書館があると思うことだ。生きる力のひとつとなるので、学校とともに意識を持ってもらいたい。

・その他

委員からの意見
工科大学のほうでもDXをつかって司書を養成すること、また、図書館と学校教育を結びつける人材育成の提案を市からお願いしたい。
研修については愛媛県松山市で全国図書館大会の研修があるので、高知図書館協会に予算があれば、使って参加を試みては。働いている人のモチベーションが上がれば図書館はよくなる、岩手県紫波町の事例のサービスの高さが素晴らしい、それはある程度会計任用職員に裁量権が任されているからだ。

・次回開催日程について

次回開催日程候補日は下記のとおりとする。 10月9日(第2木曜日)14時～16時

連絡事項

なし
